

電車運賃の認可申請について

鹿児島市交通局では、平成29年11月15日、九州運輸局長あての軌道事業の旅客運賃の変更認可申請を行いました。

主な申請内容は、下記のとおりです。

1. 申請の内容

(1) 実施予定日

平成30年1月1日(月)

(2) 申請理由

現行の運賃は、平成2年5月23日付け地鉄第52号により旅客運賃変更の認可及び、消費税率改定に伴い平成26年3月4日付け九運鉄計第123号により大人普通旅客運賃のみ改定いたしました。定期旅客運賃の改定は平成2年以降見送ってまいりました。

これまで、本市交通事業は、昭和42年に「財政再建団体」、昭和60年に「準用再建団体」の指定を受け、上町・伊敷線の廃止や国の行政職俸給表(二)の適用による人件費の削減などにより財政再建を行いました。交通事業を取り巻く厳しい環境の中で経常収支が再び赤字に転じたため、経営改善基本計画、新・経営改善計画、経営健全化計画(H22～H28)を策定し、経営の改善に努めてきました。

経営健全化計画では、「各年度末における資金不足比率が経営健全化基準である20%を下回ること」等を目標とし、「運行の効率化策」や「経営の効率化策」などをはじめとする7つの重点取組項目に基づき、遊休資産の売却、人件費の抑制、バリアフリー化の推進など、各種取組を進めてきました。

このような努力を続ける中、「経営健全化計画」が28年度に計画期間の最終年度を迎えたことから、引き続き経営改善に取り組むため、本年3月に、「安全・快適な交通サービスの提供」など4つの重点取組項目を柱とする「第2次経営健全化計画」を策定し、さらに質の高い交通サービスを提供するため、新たな定期券制度の創設など利便性の向上、施設機能の維持・向上等による運行基盤の充実を図るほか、料金のあり方等について研究するなど、局一丸となって、可能な限りの経営改善に取り組むこととしております。

このように、利用者の利便性向上を進めていく一方で、安心・安全に電車を運行するため、老朽化した施設を計画的に更新することとしており、費用負担が増大する中、今後、少子高齢化の進展による人口減少や交通手段の多様化などにより、継続的な利用者の増が見込めない状況にあるなど、経営基盤の充実・強化は喫緊の課題であると考えております。

このように、経営状況が厳しさを増す中にあっても、公営交通事業者としての使命と役割を踏まえた事業推進を図り、交通事業の基本である安全輸送の確保と親切・丁寧な乗客サービスを将来にわたり安定的に提供するため、定期運賃の改定について申請するものであります。

(3) 申請の概要

【軌道】

定期旅客運賃(大人1ヶ月)

区 分	現 行	申 請	改定率
通 勤	6,720円	7,140円	6.25%
通 学	4,800円	5,100円	6.25%
通勤通学	8,160円	廃 止	
全 線	7,720円	廃 止	

適用条件

区 分	現 行	申 請
通 勤	旅客が必要とする区間	全ての区間又は旅客が必要とする区間
通 学	旅客の通学若しくは通園に必要とする区間	全ての区間又は旅客の通学若しくは通園に必要とする区間

(4) 増収率一覧

定 期		合 計	平年度(平成30～32年度)合計の現行と申請の収入額で対比したもの。
通 勤	通 学		
5.08%	6.25%	5.60%	

2. 軌道部門収支の実績及び推定

(単位:千円)

項 目	平成28年度 (実績)	平成30～32年度(3年間合計)	
		現 行	申 請
収 入	1,884,344	5,882,335	5,922,903
支 出	1,753,869	6,035,158	6,035,141
差 引	130,475	▲ 152,823	▲ 112,238
収支率	107.4%	97.5%	98.1%

3. 運賃収入内訳

(単位:千円)

項 目	平成28年度 (実績)	平成30～32年度(3年間合計)	
		現 行	申 請
定期外	1,170,669	3,610,831	3,610,831
定 期	236,066	732,525	773,093
合 計	1,406,735	4,343,356	4,383,924

4. 需要の見通し

(単位:千人)

項 目	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)	平成29年度 (推定)	平成30年度 (推定)	平成31年度 (推定)	平成32年度 (推定)
定期外	8,326	8,560	8,466	8,546	8,616	8,710	8,756
定期	通勤	1,350	1,379	1,397	1,209	1,214	1,224
	通学	1,023	1,038	1,042	1,060	1,073	1,101
	計	2,373	2,417	2,439	2,269	2,287	2,325
合 計	10,699	10,977	10,905	10,815	10,903	11,016	11,081
対前年度比	99.2%	102.6%	99.3%	99.2%	100.8%	101.0%	100.6%

5. 設備投資実績・計画

(1) 設備投資実績と計画

(単位:千円)

年 度	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (計画)	31年度 (計画)	32年度 (計画)
項 目							
安全運行の推進	1,854,255	351,524	142,835	375,028	530,808	388,197	309,899
サービスの提供等	267,244	17,150	567,506	128,121	1,212,872	430,525	315,663
計	2,121,499	368,674	710,341	503,149	1,743,680	818,722	625,562

(2) 主要プロジェクトの内容

事業の名称	①鹿児島駅前停留場整備事業
目 的	停留場の拡幅等によるバリアフリー化や上屋及び電気設備などの改良を実施します。
効 果	JR鹿児島駅前整備と併せ停留場を整備することで、交通結節をはじめ、高齢者、車椅子・ベビーカー等多様なお客様の利便性が向上し、安全・快適に電車を利用できるようになります。
金 額	764 百万円

事業の名称	②郡元電停交差点等軌道改良事業
目 的	交差点等の分岐器等の更替や接続軌道ブロック構造への変更など、軌道改良を実施します。
効 果	電車走行の安全性を確保し、車両横断時の騒音や振動の低減が図られ、お客様の乗り心地が向上します。
金 額	479 百万円

事業の名称	③渡り線その他分岐器更新事業
目 的	老朽化した分岐器を更换します。
効 果	電車通過時の安全性を確保し、お客様の乗り心地が向上します。
金 額	178 百万円

事業の名称	④き電線改築更新事業
目 的	センターポール下に埋設された、き電線の劣化状況等を調査し、改築・更新を行います。
効 果	電圧の安定化が図られ、電車の定時性が確保されます。
金 額	90 百万円

事業の名称	⑤谷山線電柱建替え及び電車線改良事業
目 的	老朽化した電車線電柱の建替えや支持金具等の取替えを実施します。
効 果	電車走行の安定性が向上し、電車の定時性が確保されます。
金 額	250 百万円

事業の名称	⑥ロケーションシステム等導入事業
目 的	多言語対応のロケーションシステムを導入し、スマートフォン等に車両の接近情報などを提供します。
効 果	渋滞等による遅延の不安解消や電車・バス等の円滑な乗換えを図り、市民や観光客等の利便性が向上します。
金 額	9 百万円

事業の名称	⑦超低床電車購入事業
目 的	バリアフリー化、老朽化車両の更新のため、超低床電車を導入(2両)します。
効 果	車両更新により、バリアフリーの推進に加え、車両故障の低減など、さらに安定的で安全な運行となります。
金 額	350 百万円

事業の名称	⑧全国交通系ICカード利用の検討
目 的	観光客等の利便性向上を図るため、市電やシティービュー等でSuica等が利用できるよう「ラピカ」システムを改修し、全国交通系ICカードと連携するシステムの構築を早期に検討します。
効 果	観光客等の人気が高い市電やシティービューなどでの利便性を向上させます。
金 額	-

6. これまでの経営合理化の状況及び今後の取り組み

経営健全化計画(平成22～28年度)の具体的方策に取り組むことで、費用面では、職員給与費や管理経費などにおいて、ほぼ毎年度、計画を上回る節減を図ってきました。

一方、収入面においては、各種増収対策や輸送サービスの向上に取り組んできましたが、交通手段の多様化や少子高齢化の進行などにより、毎年度のように計画に達しない状況が続いています。

これらの結果、収支については、費用の節減額を上回る収入の落ち込み等により、計画を下回る年度もあり、厳しい経営状況となっています。

また、資金残額については、長年、資金不足の状態が続いてきたものの、計画を上回る費用の節減に努めたことや遊休資産の売却等により、「各年度末における資金不足比率が経営健全化基準である20%を下回る」という計画目標を、全ての年度末で達成しています。

なお、計画期間内における重点的取組項目及び具体的方策については、下表のとおりです。

重点取組項目及び具体的方策

- (1) 運行の効率化策
電車事業では、乗降客潮流調査やICカードの乗客数データを分析し、運行間隔等を見直すことにより、利用者ニーズに合った運行ダイヤの編成を行いました。
- (2) 経営の効率化策
業務・組織体制の見直しや運行の見直し等による業務量の変動に応じ、適正な人員配置を行うとともに、職員の退職等に対しては、嘱託職員の割合を配慮する中で、欠員が生じないように正規職員のほか再任用職員及び嘱託職員を採用しました。
- (3) 増収対策
ホテル等との連携による乗車券などの販売促進や、新たな広告媒体の提供等による収入の拡大、遊休資産の売却などに取り組みました。
- (4) 経費削減策
年齢構成の若返りによる人件費の抑制や、惰行運転等による燃料費の削減、電車車体の板金塗装を局内で行うこと等による経費節減などに取り組みました。
- (5) 輸送サービスの向上
平成28年度に実施した新型超低床電車2両の導入、車いす対応の電停拡充等によるバリアフリーの推進のほか、電停・バス停の上屋整備等による待合環境の整備などに取り組みました。
- (6) 職員の資質向上
研修計画に基づき、外部講師による接遇研修を実施したほか、乗務員はもとより事務職員や管理職員の研修についても積極的に実施しました。
- (7) 長期借入金の返済の見直し
一般会計からの長期借入金を平成25年度末に借り換え、利率を見直すことで利息を削減し、平成28年度末には旧交通局跡地の売却益により、全額繰上償還しました。

平成23年度に策定した経営健全化計画が28年度に最終年度を迎えたことから、引き続き経営改善に取り組むため、本年3月に「第二次鹿児島市交通事業経営健全化計画」を策定したところです。

経営の状況について、収入面では、経営の根幹である乗車料収入において、交通手段の多様化や少子高齢化の進行などにより、将来的には、減少する傾向に転ずることが見込まれ、一方、費用面では、経費節減に努める中、局施設移転・リニューアル事業に係る減価償却費の増加はもとより、今後は、「郡元電停交差点等軌道改良事業」、「渡り線その他分岐器更換事業」などの安全対策や、「鹿児島駅前停留場整備事業」、「超低床電車購入事業」など、快適で便利なサービス提供に対する経費への投資により、ますます増大する費用の負担が、本市交通事業の存続にも影響を及ぼすことも危惧され、経営基盤の充実・強化は喫緊の課題であることから、第二次経営健全化計画の目標達成に向け、重点取組項目である「安全・快適なサービスの提供」など、各種施策に積極的に取り組み、交通事業の基本である安全輸送の確保と親切・丁寧な乗客サービスの提供に、局職員一丸となってこれまで以上に努めてまいります。

7. 運賃料金の多様化の内容

【企画乗車券等】

一日乗車券	市電(全線)、市バス、カゴシマシティビュー、観光レトロ電車を一日中、何回でも乗り降りできる乗車券となっており、割安な料金で鹿児島市内を移動でき、公共交通を利用した鹿児島市内観光の利便性向上を図っています。
夏休み 子供乗車券	夏休み期間中、小・中学生及び高校生を対象に、市電(全線)、市バス、カゴシマシティビュー、観光レトロ電車に何回でも乗り降りできる乗車券となっており、市内探訪や自由研究、夏期講習、オープンキャンパスへの参加など、夏休みの思い出づくりやスキルアップに活用いただき、好評を得ています。

8. 利用者サービスの向上策

(1) バリアフリーの推進

① 鹿児島駅前停留場の整備

JR鹿児島駅前整備と併せ停留場の拡幅等によるバリアフリー化などを進めることで、交通結節をはじめ、高齢者、車椅子・ベビーカー等多様な利用者の利便性を向上させます。

② 超低床電車の導入

超低床車両の導入を進め、老朽化した車両を更新し、バリアフリー化を進めます。

③ 電停バリアフリー化の推進

唐湊停留場のホーム拡幅整備を行い、バリアフリー化を図ります。

(2) 待合環境の整備

① 案内表示の充実

ピクトグラム(絵文字)や外国語表記を活用した路線図等を表示し、一般利用者や観光客など全ての人が利用しやすい環境を整えます。

② 音声合成放送装置の更新

老朽化した音声合成放送装置を更新し、外国語に対応した車内案内放送へリニューアルするなど、一般利用者や観光客など全ての利用者が快適に利用できる環境を整備します。

③ ロケーションシステム等導入

多言語対応のロケーションシステムを導入し、渋滞等による遅延の不安などを解消し、一般利用者や観光客等の利用促進を図ります。

9. 情報へのアクセスについての情報

(1) 運賃改定申請に関するお問い合わせ先

総合企画課 営業係 電話099-257-2102 (営業時間 平日 8:30~17:00)※土日祝休み

(2) 運賃・路線など乗車券等に関するお問い合わせ先

交通局内乗車券発売所 電話099-257-2101 (営業時間 平日8:30~19:00 土日祝9:30~17:30)

(3) 鹿児島市交通局ホームページ

アドレス <http://www.kotsu-city-kagoshima.jp/>

【この資料に関するお問い合わせ先】

鹿児島市交通局

総合企画課 営業係

電話:099-257-2102

(営業時間:平日8:30~17:00)

※土日祝休み